

2019年8月8日

株式会社 ミライト

客室設置型タブレット「ee-TaB*®（イータブ・プラス）」による
客室内設備のリモートコントロール機能を初導入
～帝国ホテル 東京 本館にて、8月9日よりサービス開始～

株式会社ミライト(本社:東京都江東区、代表取締役社長:中山 俊樹)は、客室設置型タブレット「ee-TaB*®(以下、イータブ・プラス)」としては初めて、タブレット上で照明、空調、カーテンの客室内設備のリモートコントロール機能の提供を開始します。

第一弾として、帝国ホテル 東京(本社:東京都千代田区)の本館へ8月9日より順次導入し、サービスを開始します。

■帝国ホテル 東京へのイータブ・プラス導入について

帝国ホテル 東京の全客室内に設置するイータブ・プラスでは、タブレット端末を通じ、宿泊客はホテル施設案内など、様々なコンテンツを多言語で利用することができます。さらに、世界100ヶ国60言語、5,000紙以上の新聞や雑誌の最新刊を閲覧できる機能を搭載し、ホテル滞在中、いつでも好きな時間にイータブ・プラスのタブレット端末から、各国の情報を閲覧することが可能です。また今回の導入に際し、イータブ・プラスとして初めて、客室内の各種照明、空調の風量、カーテンの開閉といった客室内設備のリモートコントロール機能を搭載し、本館で提供を開始します。タブレット上に表示するリモートコントロール機能の画面は、帝国ホテル向けに10言語対応とし、提供機能に対応する操作ボタンのレイアウトなどを含めシンプルなデザインとすることで直感的な操作が可能となるようカスタマイズして提供します。

今後もさまざまな分野での利用拡大に向け、各施設に適した機能の開発を進めていきます。



客室内設備のリモートコントロール機能画面



客室イメージ

■参考1:イータブ・プラスについて

イータブ・プラスは、ミライトとテックファーム株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:千原信悟)が共同開発したタブレットサービスです。

ホテルや旅館の客室にタブレットを設置し、多言語コンテンツを配信するサービスです。主なコンテンツは、観光案内、天気情報、観光スポット案内や、動画、路線図、電子書籍、地域コンテンツなどです。

施設ごとにカスタマイズが可能なため、立地環境やメインターゲットにあわせ、ホテルで催されるイベントと連動した内容を表示するなど、最適なメニューを揃えられます。また、ゲストへのメッセージ機能などを用いることにより、ホテル運営をする上での新たな広告メディア・商品やブランドの訴求ツールとしても活用が可能です。

Wi-Fi を利用することで、フロントでの一括管理が可能なため、業務効率よく運用ができます。コンテンツごとの提供など、ホテル・旅館運営者の要望に合わせたカスタマイズパッケージとしても展開します。

【イータブ・プラス紹介ページ】<https://www.mrt.mirait.co.jp/specialcontents/eetabplus/>

■参考2:帝国ホテル 東京について

詳細は次の帝国ホテル Web サイトを参照してください。

(外部サイトへ遷移します。)

<https://www.imperialhotel.co.jp/j/>

※ 基本機能以外のコンテンツサービスについては、別途費用が発生します。

※ 記載の商品名、サービス名及び会社名は、各社の商標または登録商標です。

【ee-TaB*®サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社ミライト

イータブ・プラス推進部

TEL: 03-6807-3157

Email: eetab-plus@mirait.co.jp

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社ミライト

経営企画本部総務部広報室

TEL: 03-6807-3711

URL: <https://www.mrt.mirait.co.jp/>